

## 【夏期主催事業および運営施設における熱中症対策について】

いつもユースサービス大阪の主催キャンプにご参加いただきまして、また各運営施設をご利用いただきましてありがとうございます。

私どもユースサービス大阪では事業キャンプ参加者と施設利用者の皆様の安全をはかるため、今夏より「熱中症アラーム付き温湿度計」を各事業キャンプに携行、また運営施設に配置し、常に暑さ指数を監視しながら、安全なキャンプの運営を行ってまいります。

熱中症アラームが「危険」を示した場合、激しい運動を伴うプログラムや、炎天下でのプログラムについては中止し、屋内や木陰などの涼しい場所での静かな活動に切り替えて実施します。

「**嚴重警戒**」「警戒」を示した場合には、参加されているお子さまの体調や様子の変化に細心の注意をはらいながら、活動継続の時間を一定に区切って、涼しい場所での休憩をこまめにはさみながら活動します。

また各コースとも、塩タブレット、経口補水液などもすぐ摂取できるよう準備し、保冷剤などの冷却グッズも整えております。

各キャンプコースには、一部のコースを除き看護師を配置しており、なおかつ引率するキャンプディレクター（当財団職員）およびキャンプリーダーも応急処置やリスクマネジメントの研修を積んでおります。

施設利用者の皆様には、アラームの表示に基づき、計画されている活動について、施設職員より助言を行います。代替プログラムの内容や場所については、当日各施設にてご相談ください。

ユースサービス大阪では、すべての事業キャンプ、すべての指定管理施設において、常により安全なキャンプを目指してまいります。  
どうぞ安心してご参加、ご利用ください。

ユースサービス大阪 職員一同